

入院診療計画書：経尿道的膀胱腫瘍切除術パス

病棟 号室 患者氏名：<<ORIBP\_KANJI>> 様

<<DYTODAY>>発行

月日	経過	入院～手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	#VALUE!	#VALUE! ～ #VALUE!	#VALUE!
経過	経過	入院～手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2～3日目	術後4日目(午前退院)
達成目標		・手術に関する心身の準備ができています	・手術後の注意点が理解できる	・手術後の安静が理解できる ・痛みのコントロールができる	・発熱がなく過ごすことができる ・痛みが自制的で過ごすことができる	→	・退院後の治療計画について理解できる
治療計画	点滴			・点滴を続けます 	・点滴を外します		
	内服	・持参薬を確認します 	・朝の内服は、指示された分だけを服用して下さい		・内服薬は医師の指示で再開します	→	→
処置			・肺塞栓防止のために弾性ストッキングをはきます	・酸素マスク、心電図モニター、血圧計を装着します ・血栓予防の機械を足につけます ・痛みがある場合は、痛みどめを使用します	・歩行できれば弾性ストッキングを外します 		
検査					・採血とレントゲン		
活動 安静度	・自由に行動できます	→		・ベッド上で横向きになれます ・術後3時間後にベッドを起こして座ることができます	・尿の管を抜いた後は、歩くことができます ・初回歩行時は看護師が付き添います	→	→
食事	・手術前日、食事は19時まで出来ます		・食べられません ・指示された時間まで可能です 	・水分は3時間後から飲むことができます	・朝食より食事を開始します ※水分をたくさん取って下さい（1日1500～2000ml）		→ 
清潔	・シャワー浴が出来ます 	→			・体を拭きます	・尿の管が抜けたら、シャワーが出来ます	
排泄	・制限はありません	→		・尿の管が入っています	・血尿が薄くなり、医師の指示があれば尿の管を抜きます その後、トイレへ歩いて行くことができます	→	→
教育 指導 説明	・麻酔医と手術室看護師の説明があります ・看護師が、入院中および退院後の生活について説明をします  《入院中の生活についての留意点》 ※尿意を感じたら、我慢せずにすぐにトイレへ行きましょう ※夕食後の飲水は、夜間の尿回数が増えるので控えましょう 朝、起きてから、水分を多く取るようにしましょう ※尿の管が入っている時や管を抜いた直後は、特に力まずに排便をしましょう 便秘の方、便が出にくい方は、医師、または看護師にお知らせ下さい	・ヘアピン、眼鏡、指輪、湿布は外して下さい ・ご家族は、手術の30分前に病院にお越し下さい ・手術中は、手術室の待合室で待機して下さい		※痛みがある時、血尿が強くなった場合は、看護師にお知らせ下さい	《退院後について》 手術後1ヶ月は、以下の事は避けるようにして下さい ※重い荷物の持ち運び・無理な階段の上り下り ※草むしり・庭木の剪定 ※自転車・バイク・長時間車に乗ること ※便秘で力む動作・激しい運動 ※お酒や香辛料の強い食べ物は避けましょう ・外来予約表をお渡しします ・退院後の生活について不明な点がないか確認します		
特別な栄養管理の 必要性	<input type="checkbox"/> 有 栄養状態に合わせた栄養管理を行います <input type="checkbox"/> 無						
病名：	佐賀県医療センター好生館 泌尿器科 主治医：<<ORDCT_S_A>> ㊟、 看護師：<<ORDCT_N_A>> ㊟ 主治医以外の担当者名： 担当医 <<ORDCT_T_A>>、 薬剤師 ▲▲▲、 管理栄養士 ▲▲▲						
症状：	上記及び左記について説明を受けました。 年 月 日						
術式：	患者氏名： ㊟（印鑑がない場合は自署） 親族氏名： ㊟（患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入）						

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2：入院期間については、現時点で予想されるものです。